

令和5年度第2回幕別町創生総合戦略審議会議事録

1 開催日時

令和5年10月23日（月）18：30～19：20

2 開催場所

幕別町役場3階 会議室3－A B

3 出席委員（16名）

笹井会長、坂本委員、勝井委員、原田委員、佐々木委員、山本委員、高道委員、浦島委員、橋本委員、竹山委員、範国委員（相内委員代理）、藤井委員、堀委員、堀川委員、金野委員、森田委員

※ 森委員、宮田委員、齊藤委員、仙北谷委員は欠席

4 審議

幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

5 事務局出席者

幕別町企画総務部長	山端 広和
企画総務部政策推進課長	白坂 博司
“ 政策推進課副主幹	太刀野 亜也乃
“ “	児玉 隆良
“ 政策推進課主任	柴谷 隆次

6 傍聴者

2人

7 議事録

（企画総務部長）

お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

ただいまから、令和5年度第2回幕別町創生総合戦略審議会を開催いたします。

本日の出欠状況についてご報告いたします。

委員20名のうち、森委員、宮田委員、齊藤委員、仙北谷委員の4名から欠席の連絡を受けておりますのでご報告いたします。

また、十勝総合振興局地域創生部長の相内委員の代理としまして、十勝総合振興局地域創生部地域政策課長の範囲修史様にご出席をいただいております。

なお、幕別町創生総合戦略審議会条例第6条第3項の規定により、委員の過半数以上が出席しておりますことから、本日の会議が成立することを併せてご報告させていただきます。

(企画総務部長)

それでは、開催に当たりまして、笹井会長から挨拶を申し上げます。

(笹井会長)

皆様こんばんは、会議のご出席、誠にご苦勞様でございます。

会議に先立ちまして、一言ご挨拶申し上げます。

先日まで30℃を越えた日が続いていたのも束の間、峠では雪が降ったということで、秋を感じないままに冬を迎えてしまう今日この頃でございます。

世間ではインフルエンザも流行っているということで、体調に留意しながら、私自身も健康に過ごしていけたらと思っています。

本日の議案は「幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について」でございます。

今までの戦略をしっかりと検証して、新たなまちづくりにつなげていく、その一つの重要な過程だと考えておりますので、皆様の忌憚のない積極的なご発言をいただきながら、幕別の今後の明るい未来について検討していければと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

(企画総務部長)

ありがとうございます。これからの議事進行は、笹井会長にお願いいたします。

(笹井会長)

それでは議事に入ります。議案「幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について」、事務局から説明をお願いいたします。

(政策推進課副主幹)

それでは「幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について」ご説明いたします。

総合戦略につきましては、毎年度、施策の成果を取りまとめ、評価・検証により、進捗管理を行うこととしており、今回、令和4年度の進捗状況についてご審議いただくものであります。

まず、資料1「幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る数値目標及びKPIの進捗状況(令和4年度末)」をご覧ください。

こちらは、第2期総合戦略におきまして設定した4つの基本目標と施策のKPIの数値目標の進捗状況の表になります。

実績の数値のうち進捗率が100%以上の数値は太字、50%未満は朱書きで記載しています。

次に資料2についてですが、こちらは令和4年度取組実績とその検証であります。

それでは、時間に限りがありますことから、資料1の数値目標のうち、4年度の実績値が達成率50%未満のもの、そして3年度と比較して実績に大きな変化があったものについて、資料2により4年度の実績内容と検証を説明させていただきます。説明については以上となります。

それでは資料1をご覧ください。

はじめに、「基本目標1 産業の振興と雇用の場をつくる」につきまして、基本目標2つ、KPI9つのうち、左端番号1-03、1-09についてご説明いたします。

はじめに1-03の「認定新規就農者数(件)R2~R6累計」であります。

目標値5件、4年度実績1件 達成率20%であります。

「認定新規就農者」につきましては、農業経営への新規参入する個人または法人が対象になりますことから、単に親から子への経営移譲をされた場合については、含まれていません。

農業経営開始後5年以内に青年等就農計画を市町村に提出し、認定を受けることにより、経営開始資金の交付や無利子融資等の国の支援を受けられるものであります。

4年度は、1法人が認定を受けておりますことから実績が1件となりました。

新たに農業経営を目指す方への支援の取組につきまして、資料2の6ページ「施策4 農業・自営業の後継者及び新規就業者の確保・育成」①新規就農者支援事業をご覧ください。

新規就農者の育成を図るため、営農指導費や農用地等の賃借料相当分等を補助する取組であります。

4年度実績欄に記載のとおり新規就農者支援奨励金3件、経営開始資金を11人に交付しております。

新規就農者支援奨励金は5年間、経営開始資金は3年間、事業を活用できるものであります。検証、評価欄に記載のとおり、経営が不安定な就農初期段階において継続的な支援をすることにより、経営が安定化を図られるものであります。

留意点・改善点といたしましては、就農初期段階において継続的な支援を行うと共に、担い手の確保・育成を図るため、情報紹介やPR活動を強化することとして、欄に記載のPR活動を行うこととしています。

5年度につきましても、引き続き、新規就農者支援奨励金、経営開始資金による支援を行うものであります。

次に資料1の1-09「創業支援件数（件）R2～R6累計」についてであります。

目標値30件、4年度3件、達成率10%でありました。

こちらは商店街活性化店舗開店等支援事業及び中小企業融資保証料・利息補給事業の新規の利用実績になります。

4年度、商店街活性化店舗開店等支援事業の新規利用が1件、累計3件でありました。

資料2の5ページ「施策3 既存事業者及び進出企業等に対する支援」②中小企業融資保証料・利息補給事業をご覧ください。

こちらは、幕別町中小企業融資の信用保証料を補給するものであります。

4年度の実績欄の件数をみますと、補償料、利息補給は中小企業融資365件、創業支援融資22件でありましたが、うち、新規の利用者はありませんでした。

検証・評価欄にありますとおり、2年度の国の施策による新型コロナウイルス感染症関連融資が当初3年間無利子無担保で実施されているためと考えられます。

留意点・改善点に記載のとおり、町内中小企業の事業運営支援のために、本事業の継続が必要であり、商工会、金融機関との連携による情報発信と事業者支援が必要であるとしております。

5年度取組予定としまして、広報HP等の情報発信のほか、商工会や金融機関との情報交換会の開催、新規に新型コロナウイルス感染症関連融資の利息補給等を行うこととしております。

次に資料1の「基本目標2 十勝・幕別への人の流れをつくる」についてであります。

基本目標2つ、KPI8つのうち、左端番号2-02、2-03、2-04と2-05、2-07についてご説明いたします。

2-02「社会増減数の均衡（人）」 目標値0、4年度の実績▲59でありました。

社会減の抑制を図る取組としまして、子育て世帯の移住定住施策を重点的に進めているところであります。

資料2の12ページ「施策4 移住・定住対策」②マイホーム応援事業をご覧ください。

40歳未満の方が町内で新築・中古住宅を購入した場合に補助するものであります。新築30万円、中古住宅20万円の基本の補助額に、18歳未満のお子さんがある場合の子供加算、幕別市街

または忠類市街に取得した場合の地域加算、そして町内事業者から新築購入した場合の事業者加算を上乗せし交付しています。

4年度の実績欄記載のとおり、本制度利用による住宅取得件数が合計80件、うち、町外からの転入が33件93人でありました。

検証、評価欄に記載のとおり、幕別町への移住促進と町内居住者の定住対策として、主に若年層への定住及び幕別、忠類の両市街地への定住に重点をおいて事業を実施しているところがあります。

留意点・改善点につきまして、交付実績を分析し、より効果的な施策となるよう事業の見直しを検討することとしています。

5年度取組につきましても、4年度と同様に実施することとしています。

次に資料1の2-03「訪日外国人宿泊者数（人）」をご覧ください。

目標値13,500人、4年度実績2,280人、達成率17%でありました。

3年度の外国人の宿泊数は0人でしたが、4年度、コロナ禍の入国制限が緩和されたことから実績がありました。

資料2の8ページ、9ページ「施策1 ブランド戦略やシティプロモーションの推進」①忠類地域魅力発信事業、②観光施設維持管理事業、③観光物産振興事業といった、地域の魅力発信、魅力向上を通し、国内外から誘客促進を図っているところがあります。

次に資料1の2-04「スポーツ合宿・大会受入者数（人）」であります。

目標値450人、4年度実績208人、達成率44%でありました。

こちらは慶應義塾大学体育会野球部合宿の受入61人とサッカー日本クラブユースの受入147人の合計数になります。達成率44%であります。その下の2-05「スポーツ集客イベントへの参加者数」2,355人、達成率174%の内訳のうち、慶應義塾大学野球部オープン戦の観戦及び野球教室参加者433人、サッカー日本クラブユース観戦1,100人が含まれており、合宿、大会の受入が参加者数増に結びついているところがあります。

スポーツによる交流人口推進の取組につきまして、資料2の9ページ「施策2 スポーツ合宿・大会誘致の推進」①アスリートと創るオリンピックの町創生事業をご覧ください。

4年度実績欄に記載のとおり、アスリート向けのレシピ開発及び子どものスポーツを支えるための講演会、十勝EZOCAフェスティバル、オリンピックふれあいイベント、オリンピック学校訪問事業の開催、オリンピック輩出要因分析事業、慶應義塾体育会野球部の合宿誘致などを実施したところがあります。

検証・評価につきまして、レシピを冊子にして公共施設に配備し、幕別町産農産物を活用し

たレシピを多くの方に紹介、講演会を通し、場面にあった食事の摂り方やスポーツへの関心や興味を深めることができた、スポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、健康・体力づくりを推進するための機会を提供することで、健康で明るいまちづくりに寄与できた、オリンピックと身近に触れ合うことで、スポーツに対する興味やスポーツ技術を高め、子どもたちが未来のオリンピック選手やアスリートを目指すきっかけ作りに寄与できた、練習及び練習試合を無料開放し観戦してもらったり、野球教室を開催し町内の児童生徒に指導してもらったことで、スポーツを見る・する・応援する機会を創り、スポーツへの関心や興味を深めることができた、としております。

留意・改善点になりますが、完成したレシピを引き続き広く周知するとともに、学校給食・国内研修受入・合宿誘致などの食事に取り入れることができるよう関係機関と調整を図る必要がある、継続して開催する方法、集客数を増やすために魅力あるブースの出展、効果的なPR活動の実施、イベント全体の事業費の捻出をどのように行っていくかの検討が必要である、「オリンピックの町」としてまちづくりを進めるために、今後の事業展開について関係機関と綿密に検討を行う必要がある、HPやSNSを通じて合宿誘致に関する情報の発信を積極的に行い、今後の誘致につなげていく。また、既存のスポーツ施設を有効活用して合宿を誘致し、スポーツを通じた交流人口の拡大を図る必要がある、としております。

5年度の取組につきまして、オリンピック学校訪問事業、オリンピック輩出要因分析事業及び子どものスポーツを支えるための講演会、慶應義塾体育会野球部の合宿誘致を実施しております。

また、その下②屋内・屋外体育施設維持管理事業において、スポーツ施設の修繕、スポーツ機器の導入等を行い、合宿、大会の受入体制の整備を図っているところであります。

次に資料1の 2-07「農村ホームステイ受入者数（人）」についてであります。

目標値117人、4年度実績331人、達成率283%でありました。

資料2の10ページ①農村ホームステイ事業をご覧ください。

こちらは農家民泊での都市部の修学旅行生の受入を行う事業であります。

4年度実績欄にありますとおり、3年度、コロナの影響により十勝全体で受入を中止しましたが、4年度は宿泊なし、日帰り体験のみを1クラス単位で受入したことにより、目標値を大幅に上回りました。

留意・改善点の欄になりますが、5年度の受入についても、日帰り体験のみですが、6年度以降の宿泊を伴う受入れ再開に向けて、農協等と連携し、受入家庭を増やす取組が必要であるとしております。

次に資料1の「基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる」について、基本目標2つ、KPI6つのうち、3-03「婚活イベント参加者数(人)」についてご説明いたします。

目標値80人4年度実績12人、達成率16%でありました。

こちらはグリーンパートナー交流会事業の参加人数であります。

資料2の13ページ「基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の「施策1 結婚の希望に応える支援」①グリーンパートナー対策事業をご覧ください。

こちらは、農業者や若者が交流する場の提供する事業であります。

4年度実績は、クラブアップル事業が参加者6人、小規模交流会が参加者6人でした。

検証・評価欄に記載のとおり、参加者を少人数に制限、体調不良による交流会開催の中止など新型コロナウイルスの影響が、参加者数が少なかった要因と考えております。

留意点、改善点の欄になりますが、人目に付きやすい場所にポスターの掲示を行うなどの周知方法の強化、募集人数を拡大するなど、参加しやすい内容に工夫する必要があるとしております。

5年度の取組につきましては、引き続きクラブアップル事業、小規模交流会を実施することとしており、7月8日にクラブアップル事業の夏季交流会におきまして、農業青年と日ハム観戦ツアーを実施し、12名に参加いただいているところです。

次に資料1の「基本目標4 安全・安心で快適な暮らしができるまちをつくる」についてであります。

基本目標1つ、KPI7つありますが、4年度、すべて達成率50%を上回っております。

3年度、50%未満でした4-08「幕別町公共施設等総合管理計画個別施設管理計画策定率」につきましては、5年4月付の「幕別町保健福祉センター長寿命化(個別施設)計画」の策定により、全17分類のうち9分類、過半数が策定済となりました。

次に資料3「幕別町まち・ひと・しごと総合戦略KPI検証」をご説明いたします。

資料2の37の数値目標の達成率に応じてA～Dに区分し、進捗状況を検証したものであります。

1枚目の下の達成状況の総括表をご覧ください。

目標の達成状況Aの達成率100%以上が全体で9件24.3%、Bの50%以上100%未満が22件59.5%、Cの1%以上50%未満が6件16.2%、Dの0%が0件という結果でありました。

説明は以上になります。

(笹井会長)

ただいまの説明につきまして、何かご質問等ございましたらよろしくお願いいたします。

(原田委員)

スポーツ集客イベントへの参加者の数字ですが、総合戦略ということで、パークゴルフの人数は入れなくても良いのでしょうか。

その辺を入れると数字が変わってくると思うのですが。主催が町なのかパークゴルフ協会なのかわかりませんが、その辺の処理はどのようになっているのでしょうか。

(政策推進課長)

スポーツ集客イベントへの参加者数の中に、パークゴルフの利用者数も入れてはどうかというお話だと思うのですが、こちらのKPIとしましては、「基本目標20勝・幕別への人の流れをつくる」というところから、わかりやすく外から人を呼び込むということで集客のイベントを開催した時の参加者数ということで目標値を設定しているということなので、パークゴルフ場の利用人数については、今回、含まれておりません。

ですが、委員がおっしゃるとおり、パークゴルフも当然、他の町から来るといったこともありますし、コロナ後、利用客も増えてきているというような状況であります。

この戦略自体が令和6年度までの期間でKPIを設けて実施しているものでありますので、現段階でKPI自体を変えるのは難しいのですが、次期総合戦略が令和7年から始まるので、6年度中にこちらの審議会でも戦略を揉んでいくこととなりますので、今のようなご意見なども反映されれば、KPIに盛り込んでいくことも考えられると思います。

(原田委員)

それではこの後、7年度からの戦略で幕別町がパークゴルフ発祥のまちとしてアピールできるんだということに利用できると思うのです。

慶應野球部が来始めた時は、物見遊山というか、みんなで行こうという話になったんですけども、ちょうどその時、並列でパークゴルフの国際大会の開催もあったので、その数値も入れてほしいというものです。

(政策推進課長)

確かに国際大会については4年度にコロナが明けて再開しましたが、海外からの参加者は招致できなかったのですけれども、今年度、4年ぶりに海外からも参加者がありましたので、十

分集客イベントと捉えられるのかなというふうに思っておりますので、その辺も含めて、検討させていただきたいと思います。

(笹井会長)

よろしいですか。他にございませんでしょうか。

事務局からの説明で、新規就農者についての報告があったと思うのですが、その点について、坂本委員から何かございませんでしょうか。

(坂本委員)

新規就農者については、おそらく当農協では平成15年から実績がない状況でありまして、新規就農されている何名かの方は札内農協や忠類農協になるのかなと思います。

担当については幕別町農業振興公社になると思うのですが、そちらと話し合いをしながら、当農協も新規就農者できるような環境づくりが必要かと思っています。

(笹井会長)

施策3の既存事業者及び進出企業等に対する支援というところで金融機関から、ご意見をいただけませんでしょうか。

(勝井委員)

正直なところ、町内での新規開業の案件っていうのは、なかなか（相談に）お越しいただけていないという状況なんですけど、人口集積、商業集積がどうしても札内地区に集中している関係上、帯広信金が伸びているのではないかと思います。

ただ、一方で、空き家バンクですとか尽力されている中で、何かしらお力添えができないか、域外からの誘致の部分、工業団地に関しては、いろいろ相談はあるんですけども、面積が残ってない中で居抜きですとか、他社の移転後の利用について色々引き合わせなども行ったりしているところです。

新たに事業を開始されたいという方々がお越しの際には、当店だけではなくて、当行全体でフォローできるように体制を整えております。

(笹井会長)

ありがとうございました。

私から一点お聞きしたいのですが、今年度に入ってからだと思いますが、地域おこし協力隊が空き店舗対策ということで活動をされていますが、実績などは、これからの話になってくるのでしょうか。先日も会議で、問い合わせが11件で、貸したいという方も7件いらっしやるとい話でしたが、その辺の情報とかがあれば。

(政策推進課長)

確かに問い合わせですとか、空き店舗を持っている方たちから譲りたいですとか、幕別で開業したいので借りたいですとか、複数件問い合わせがあるということをお伺っております。

実績の数値は、今、手元に持ち合わせていませんが、店舗を持っていて使っていないとか、高齢になって後継者がいないとか、どこに相談していいのかわからなかった方たちが、地域おこし協力隊がサポートセンターを開設して相談を受けたところ、いろいろな方面から問い合わせが来ているということなので、今度は、借りたい人にうまく繋ぐことができれば、町内での開業につながっていくのではと思っておりますので、協力隊員の頑張りもあり、動きが出ているというような状況であります。

(笹井会長)

ありがとうございました。

先ほど観光のことについて出ましたが、堀川委員から何かございませんか。

(堀川委員)

観光物産協会が所管する、まくべつ夏フェスタ、忠類盆踊り、産業まつり、どんとこい村祭りが、ほぼ天候に恵まれた中で開催されました。

皆さん、出かけたいという外出欲、購買意欲というのかというのが、コロナが明けてかなり高まっているような状況で、観光物産協会としてもイベントを運営できて、そして開催ができてよかったなというふうに感じております。

来場者も近場の方から遠くの方まで、年代も幅広くお越しいただきましたので、出店者の方々も途中で材料を追加して販売するような状況で、かなり列ができていた状況を拝見しますと、その点も成功だったと思っております。

先ほど、原田委員がおっしゃられたようにパークゴルフが今年40周年で、先月くらいにラジオの北海道魅力再発見で2週連続取上げられているのをちょうど聴きまして、全道各地でパークゴルフのファンの方に魅力発信ができたろうと感じました。

ただ、基本目標1-11のふるさと納税に関しては、少し苦戦をしているような形です。

新しい特産品が事業者の協力によっていくつか生まれ出されているのですが、他の自治体、事業者の方が勝っているのか、あるいは情報発信の仕方がかなり強力なのかわかりませんが、手厚い町の支援で動いておりますので、これからも事業者の活躍にお期待を寄せているところです。

(笹井会長)

ありがとうございました。

その他、皆様からなにかございませんでしょうか。

本日予定の議題は以上となります。

最後に何かございませんか。

(政策推進課長)

事務局から一点お伝えさせていただきます。先ほど原田委員からのご質問で触れさせていただきましたが、第2期の計画期間が令和2年から6年の5年間で、来年度が最終年となります。

7年度から5年間の第3期の計画策定をすることになりまして、その内容を本審議会の中でご審議いただくことを予定しております。

ですので、例年2回の開催ですが、来年度については策定期間になりますことから2回プラス複数回の開催を予定しておりますので、予めご連絡させていただきます。

開催内容、日時は来年度、皆様にお示しさせていただきますのでどうぞよろしく願いいたします。

(笹井会長)

来年度は開催回数が増えるという連絡でしたが、皆様のご出席をよろしくお願いいたします。

以上で本日の審議会を終了させていただきます。

長時間にわたりありがとうございました。